

よりよく生きるための 心のチカラ

社会福祉法人花巻保健福祉会

若葉保育園 園長 中村 憲

認知能力 = 学力

テストの点数によって評価できる力

読み・書き・そろばん、IQ、英語力、、、

非認知能力
(社会的情動スキル：OECD)

テストの点数によって評価できない力

忍耐力、自制心、回復力、意欲、楽観性、自信、
共感性、協調性、社交性、、、

認知能力 VS. 非認知能力

- 認知能力と非認知能力は対立するものではない
- 非認知能力と認知能力は互いに補い合い、高めあう
 - ex) 感覚・運動が発達していく中で、徐々に認知機能が育っていくし、感情も発達していく
- 認知能力は伸ばすほどよいが、非認知能力はプラスの面とマイナスの面がある
 - ex) 自尊心：＋自分の可能性を信じることができる
 - －無謀な挑戦に挑み、リスクの想定が苦手

非認知能力を整理してみよう

▶やる気系

【自分を高める力】

- ・意欲、向上心
- ・自信・自尊感情
- ・楽観性など

▶がまん系

【自分と向き合う力】

- ・自制心
- ・忍耐力
- ・レジリエンス
(回復力) など

▶つながり系

【他社とつながる力】

- ・コミュニケーション能力
- ・共感性
- ・社交性、協調性など

どうして今、非認知能力？

- AI：たくさんの情報をより速く、間違いなく処理する
「学力」
- 人間力：相手に共感しながら、他者に働きかける
意欲をもって、自分のやりたいことや
だれかのためになることをやる
「非認知能力」

人間とAIのパートナーシップ

VUCAを生きる

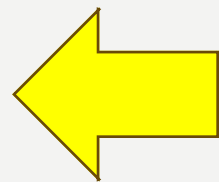
VOLATILITY : 変動性
UNCERTAINTY : 不確実性
COMPLEXITY : 複雑性
AMBIGUITY : 曖昧性

「将来予測が困難な時代」
「過去の経験が通用しない時代」

→ 変化への対応力
変化への柔軟性
新しい価値の創造

VUCAの時代に求められる力

- 行動力
- 仮設思考力 AI
- 問題解決能力 AI
- 情報収入能力 AI
- 創造的思考力
- リーダーシップ
- チームワーク
- コミュニケーション能力
- 迅速な意思決定



テストで測れる？

非認知能力を育む

1. 自己肯定感

「自分は大切な存在だ」と感じられる力

- ・ 結果ではなく「プロセス」をほめる
 - 「最後までやり切ったね」「工夫したところがよかった」
- ・ 失敗を否定しない
 - 失敗は成長の材料だね
- ・ 選択肢を与えて自分で決めさせる
 - 主体性が育つ

非認知能力を育む

2. 自己効力感（やればできる感覚）

行動の原動力なる

- ・ 小さな成功体験を積ませる
 - 簡単なタスクから始めて達成感を味わう
- ・ できたことを振り返る習慣
 - 今日できたことを3つ話してみよう

非認知能力を育む

3. 粘り強さ（グリット）

困難でも投げ出さず続ける力

- ・ 長期的な目標を一緒に設定する
- ・ 途中でつまずいたときに伴走者として支える
- ・ 完璧主義にしない

→すこしずつでいいよ。続けることが大切だね。

非認知能力を育む

4. 感情のコントロール

怒り・不安・悲しみなどを適切に扱う力

- ・感情に名前をつける練習
→ 「今、悲しい気持ちなんだね」
- ・深呼吸やクールダウンの習慣
- ・大人が感情を言語化して見せる
→ モデリング効果

非認知能力を育む

5. 好奇心・探求心

「知りたい」「やってみたい」という気持ち

- ・興味を示したら、深掘りできる環境を用意する
→ 図鑑、実験、観察、体験
- ・大人が答えをすぐ教えない
→ 「どう思う？」 「どうする？」 と問い返す

実践研究（エピソード記録）

看護師として非認知能力を育もう

1. 看護師として、子どもとのかかわり（具体的な行動）を記述する
2. それぞれの行動に対する子どもの反応と心の動きを記述する
3. 心の動きから育まれている、あるいは育みたい非認知能力を考える
4. その非認知能力を育むための働きかけを考え、実践する

※ 3, 4 は一体的であっても構わない

エピソード記録（例）

【5歳児】

保育者より5歳児の〇〇が園庭で運動会の練習中にコーナーで滑って転び、膝を擦りむいたと〇〇の手当をお願いされた。痛さとショックのため、〇〇は泣いていたが、傷口の消毒の必要があったので、流水で膝を洗うことにした。「傷に土がついているから、きれいにあらうよ」と話したが、〇〇は傷口を洗うことをいやがってさらに泣いた。

転んでしまったショックをまだ引きずっているのかもしれないし、血のにじむ傷口が水が触れることでさらに痛むという不安があったのかもしれない。また、これからの処置に見通しがなくて不安に思っているのかもしれない。

まずは、練習をがんばったことを誉め、速く走りたかった気持ちに共感することで、気持ちの切り替えを促して落ち着かせた。（気持ちを切り替える力）また、流水ははじめに少ししみるが、すぐ慣れることを話し、不安を取り除きたいと思った。傷口を流水で洗う、消毒液で消毒する、絆創膏をはるなどのこれからすることを伝え、見通しを持てるようにした。（見通しを持つ力）傷口をきれいにして、絆創膏をはれば、すぐよくなるから少しの痛みはがまんしようねと伝えた。（目的のために我慢する力）